

岩下清水古墳群の特色

本村には片品川・利根川沿いに多くの古墳が発見されている。村で文化財として指定されたものでは、森下（御門）古墳群、鍛屋地古墳、岩下清水古墳群、八日市古墳群、十日塚古墳があげられる。発掘調査には巨額な費用がかかるため、開発時に終わることが多くなっている。

平成十三年、永井・入原地区の農業集落排水事業時に岩下清水古墳群の調査が行われた。本古墳群は戦前に行われた調査で、十七基の古墳の存在が確認されている（後の調査では三十基とも）。しかし、畑の耕作が行われる中で本古墳群は、次第に荒れて来ていた。そのような中、集落排水事業に関係している三基を中心に発掘調査が行われた。

調査でわかったことは、三基のうちの二基の古墳が方墳（四角形）であり、他の十数基はすべて円墳（円形）であった。同じ古墳群に方墳と円墳の二つの形が混在していたのである。

方墳に埋葬されている人は渡来人（朝鮮半島）の子孫ではないかと推測され、その理由としては、高崎や渋川で発見された方

墳は渡来人によって造られているからである。渡来人は、従来から日本に住んでいた人と同じ地域で生活している中でも、自分たちのルーツへのこだわりを古墳をとおして示していたとも推測されている。

多くの古墳を有する本古墳群が利根川沿いの狭い河岸段丘地域にあるため、報告書では「古墳群に埋葬された人が住んでいたと思われる集落や生産地域が発見されていない。住んでいた人々の集落がどこに存在するかは今後の課題である」と述べる。

古墳群近くには住居集落があるはずだが、今のところ発見されていない。本古墳群を造った人々の居住跡が入原・永井地域のどこに存在していたのかは興味の高まるところである。

参考 群馬の古墳物語

岩下清水古墳群報告書



岩下清水 2 号古墳（方墳）

昭和村ボランティアガイドの会

理事 堤 義樹



地域包括支援センターだより

介護保険サービスの利用

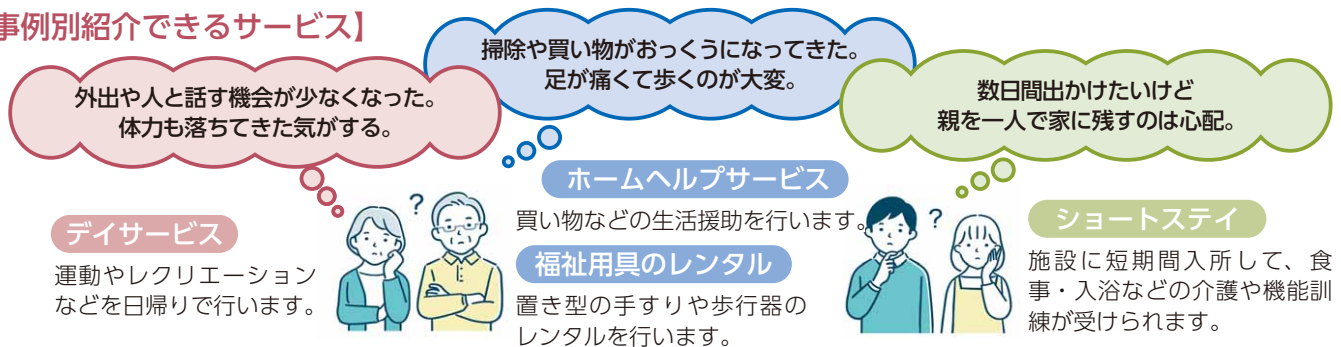
地域包括支援センターでは、高齢者の皆さんがいつまでも住み慣れた地域で生活できるよう様々な困りごとの相談を受け必要なサービスにつないでいます。

今回の地域包括支援センターだよりでは、介護保険サービスについて紹介します。

【サービス利用のおおまかな流れ】



【事例別紹介できるサービス】



※他にも利用できる様々なサービスがあります。「詳しく知りたい」「将来のために知っておきたい」など、お気軽にご相談ください。



問合せ 地域包括支援センター ☎ 20-1126

